



# PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

## 関東予選 1 千成GC（栃木） 予選大会結果のお知らせ

### < PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 関東予選① >

◇2017年3月18日（土） ◇天候：晴れ

◇栃木・千成GC（15-17歳男子6737ヤード、パー72ほかカテゴリー別）

◇出場168人

### < 関東予選① 概況 >

15-17歳の部男子は、2014年世界ジュニア13-14歳の部を制している杉原大河（徳島・生光学園高2年）が、1アンダー71の好スコアで1位となり、東日本決勝大会（4月22、23日、茨城・美浦GC）に進んだ。杉原は西日本ブロックの関西・東海予選も通過して西日本決勝大会（4月1、2日、佐賀・若木GC）にも進んでいる。同女子は岩井明愛（あきえ、埼玉・川島中2年）が1オーバー73をマークしてトップとなり、6位になった双子の妹・千怜（ちさと、埼玉・川島中2年）と世界ジュニアを目指す。13-14歳の部男子は2位に5打差の73で回った鈴木隆太（千葉・野田第一中2年）が、同女子は77で3人が並んで18番からのカウントバックで市村杏（長野・軽井沢中1年）が、それぞれ東日本決勝大会にトップで進出した。

### < 関東予選① 予選結果 >

東日本ブロック決勝の進出者は以下の通り。\* 敬称略

#### ▽15-17歳男子

- 【1位】杉原大河（徳島・生光学園高2年）= 71
- 【2位】植木祥多（埼玉・埼玉栄高2年）= 73
- 【3位】藤澤 諒（山梨・甲府南中2年）= 74
- 【4位】宮里拓弥（沖縄・那覇西高2年）= 75
- 【5位】長野京介（群馬・共愛学園高1年）= 76
- 【6位】杉田龍英（群馬・佐野日大高1年）= 76
- 【7位】黒澤 光（福島・東日本昌平高1年）= 77
- 【8位】渋谷晃太郎（東京・代々木高1年）= 77
- 【9位】戸村拓郎（栃木）・佐野日大高1年）= 78
- 【10位】柚木将吾（栃木・佐野日大高2年）= 80

#### ▽同女子

- 【1位】岩井明愛（埼玉・川島中2年）= 73
- 【2位】吉田優利（千葉・麗澤高1年）= 74
- 【3位】緑川瑞玲（東京・日体大荏原高1年）= 76
- 【4位】木村朱夢（埼玉・埼玉栄高1年）= 77
- 【5位】五月女栞雛（栃木・清陵高2年）= 78
- 【6位】岩井千怜（埼玉・川島中2年）= 78
- 【7位】遠藤まりの（埼玉・埼玉栄高1年）= 78
- 【8位】山田紗楽（東京・共立第二高1年）= 79
- 【9位】稲垣那奈子（東京・共立第二高1年）= 79

▽13－14歳男子

- 【1位】鈴木隆太（千葉・野田第一中2年）＝73
- 【2位】宮下優輝（埼玉・埼玉栄中1年）＝78
- 【3位】寺島 諒（静岡・裾野西中2年）＝80
- 【4位】町田竜成（東京・赤塚第二中2年）＝80
- 【5位】小室敬偉（東京・成城学園中2年）＝80
- 【6位】仲宗根寛瑛（神奈川・西柴中2年）＝82
- 【7位】山田剣臣（東京・城山中2年）＝83
- 【8位】松枝靖悟（栃木・石橋中1年）＝83
- 【9位】中野麟太郎（東京・明大付中野中1年）＝83

▽同女子

- 【1位】市村 杏（長野・軽井沢中1年）＝77
- 【2位】山本渚月（栃木・足利北中1年）＝77
- 【3位】越田泰羽（神奈川・岡津中1年）＝77
- 【4位】鈴木優芽（埼玉・小針中2年）＝78
- 【5位】横山珠々奈（栃木・氏家中1年）＝81
- 【6位】佐藤有仁加（栃木・宇都宮大付中2年）＝81

▽11－12歳男子

- 【1位】吉沢己咲（群馬・神流小6年）＝76
- 【2位】隅内雅人（茨城・城東小6年）＝76
- 【3位】本 大志（神奈川・末吉小5年）＝77
- 【4位】岩井光太（埼玉・中山小6年）＝77
- 【5位】佐藤快斗（埼玉・土合小5年）＝81
- 【6位】末広大地（新潟・胎内小6年）＝81
- 【7位】相原涼汰（埼玉・行田南小6年）＝81

▽同女子

- 【1位】伊藤二花（東京・花小金井小5年）＝80
- 【2位】馬場咲希（東京・仲田小5年）＝82
- 【3位】上田霽空（東京・東寺方小5年）＝83
- 【4位】茶木詩央（東京・稲城第四小5年）＝83
- 【5位】塚田こと音（千葉・小倉台小6年）＝83
- 【6位】大塚由姫乃（茨城・斗利出小6年）＝85
- 【7位】飯田 茜（栃木・真岡東小5年）＝88

▽9－10歳男子

- 【1位】井上笑慈（群馬・あずま小4年）＝88
- 【2位】渋谷晃太郎（神奈川・瀬戸ヶ谷小3年）＝91
- 【3位】木暮凌太（千葉・旭東小3年）＝91

▽同女子

- 【1位】小林イリス（東京・聖学院小4年）＝76
- 【2位】大原寧々（栃木・晃宝小4年）＝79
- 【3位】花田涼奈（栃木・宝木小4年）＝81

▽7－8歳男子

- 【1位】片野寛一郎（千葉・松戸東部小1年）＝80
- 【2位】星野煌貴（群馬・榛東北小1年）＝81
- 【3位】島田楽生人（群馬・豊受小1年）＝83

▽同女子

- 【1位】荻原すいみ（埼玉・明戸小1年）＝83
- 【2位】佐藤陽花（東京・栄小1年）＝104

（注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる

### 関東予選①ハイライト ◇15—17歳の部男子◇栃木・千成G C（6737ヤード、パー72）

杉原大河（徳島・生光学園高2年）がただ1人、アンダーパーの1アンダー71をマークして、東日本決勝大会（4月22、23日、茨城・美浦G C）に進んだ。前半は2オーバーだったが、後半スタートの10番パー5（521ヤード）で残り230ヤードの第2打を3番ウッドで2オンさせるバーディー。11番では2メートルを沈めて連続バーディーと調子を上げた。最終18番パー5（509ヤード）では「フォローだったけどドライバーが300ヤード以上飛びました」と、これも2オンに成功し、バーディーで締めた。2014年世界ジュニアの13—14歳の部で優勝した。15年の15—17歳の部では3日目最終組で回るなど優勝争いをしたが、11位に終わり、昨年は胸部の筋肉を痛めて出場を断念。「何としてももう1回、世界ジュニアの舞台に立ちたい」と、今年は予選から挑戦している。東西ブロックの予選にダブルエントリーできるため、すでに関西・東海予選で西日本決勝大会進出も決めている。「世界ジュニアは、今年が最後なので絶対に出たい。1つ目のチャンスの西日本決勝大会で優勝したい」と、意気込んでいる。

### 関東予選①ハイライト2 ◇15—17歳の部女子◇栃木・千成G C（6197ヤード、パー72）

岩井明愛（あきえ、埼玉・川島中2年）が1オーバー73で、吉田優利（千葉・麗澤高1年）を1打振り切って、東日本決勝大会（4月22、23日、茨城・美浦G C）にトップで進出した。「風がある中でセカンドショットがうまくいった」と、2番パー5（464ヤード）で2オンに成功するなど3バーディーを奪った。「チャンスはほかにもあったので、もう少しスコアを出せたかもしれません」と、ちょっと残念そう。それでも、双子の妹、千怜（ちさと）に勝つためのトップにうれしそう。昨年の関東予選では13—14歳の部で妹が優勝し、自分は決勝進出を逃した。「妹と一緒に世界ジュニアに出る」のが夢という。千怜は6位で通過し「（姉の）73はすごいと思う。今日はパットが入らず悔しかった」と振り返った。東日本決勝大会での自信を別々に聞くと「ちょっと自信ないかな」と同じ答えが返ってきたが、2人で競い合えば「双子同時出場」も夢ではない。

### 関東予選①ハイライト3 ◇13—14歳の部男子◇栃木・千成G C（6737ヤード、パー72）

鈴木隆太（千葉・野田第一中2年）が、同世代が風と難しいグリーンに苦しむ中、2位に5打差をつける1オーバー73の好スコアをマークして1位になった。「ショットが悪かったけど、いいパーパットが決まってくれました」と振り返る。スタートの1番でいきなり3メートルのパーパットを残したが、パーで切り抜けた。4番では右隣のホールに打ち込み、第3打でやっとグリーンに乗せただけだったが、7メートルのパーパットをねじ込んだ。バーディーは9番の1つだったが、粘りのゴルフをみせた。世界ジュニア出場を目標に、英語の塾に通っている。「世界ジュニアに出れば将来に役立つと思う、外国人とコミュニケーションをとってみたい」という。東日本決勝大会に向けて「ドライバーが曲がるので修正したい。世界に行く自信はあります」と、世界舞台を引き寄せたい。



#### 写真

左上 = 15-17歳男子 杉原大河

右上 = 15-17歳女子 岩井明愛

左下 = 15-17歳女子優勝の岩井明愛（左）と千怜の双子姉妹

©IJGA2017